

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公開番号】特開 2021-65872 (P2021-65872A)

【公開日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2021-020

【出願番号】特願 2019-195595 (P2019-195595)

【国際特許分類】

B 0 6 B 1/02 (2006.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

B 0 6 B 1/04 (2006.01)

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 6 B 1/02 A

G 0 6 F 3/01 5 6 0

B 0 6 B 1/04 S

H 0 4 R 3/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 9 日 (2021.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パイプレーション装置による振動を信号によって制御する振動制御装置であって、
前記信号について、前記信号のエネルギーを維持しながら前記信号とは別の周波数をも
つ波形に変換するエネルギー制御部
を備える、振動制御装置。

【請求項 2】

所定周波数以下の周波数を有する第 1 の信号成分を前記信号から除去する周波数除去制
御部と、

前記周波数除去制御部によって除去された前記第 1 の信号成分以外の前記信号における
第 2 の信号成分を所定時間毎に分割する時間分割制御部と、

を更に備え、

前記エネルギー制御部は、前記時間分割制御部によって分割された前記所定時間毎に、
前記第 2 の信号成分のエネルギーを維持しながら当該第 2 の信号成分の波形を変換する、
請求項 1 に記載の振動制御装置。

【請求項 3】

前記所定周波数は、80 Hz から 400 Hz までの範囲内の周波数である、
請求項 2 に記載の振動制御装置。

【請求項 4】

前記エネルギー制御部による波形の変換後の前記第 2 の信号成分に加えて、前記周波数
除去制御部によって除去された前記第 1 の信号成分を出力する信号出力部
を更に備える、請求項 2 又は 3 に記載の振動制御装置。

【請求項 5】

前記信号出力部によって出力された前記第 1 の信号成分については、複数の前記パイプ

レーション装置のうちの第1のバイブレーション装置によって振動が生成され、

前記信号出力部によって出力された前記第2の信号成分については、前記複数のバイブレーション装置のうちの第2のバイブレーション装置によって振動が生成される、
請求項4に記載の振動制御装置。

【請求項6】

バイブレーション装置による振動を信号によって制御するコンピュータに、
前記信号について、前記信号のエネルギーを維持しながら前記信号とは別の周波数をもつ波形に変換する、
処理を実行させる、振動制御プログラム。

【請求項7】

前記コンピュータに、
所定周波数以下の周波数を有する第1の信号成分を前記信号から除去し、
除去された前記第1の信号成分以外の前記信号における第2の信号成分を所定時間毎に分割し、
分割された前記所定時間毎に、前記第2の信号成分のエネルギーを維持しながら当該第2の信号成分の波形を変換する、
処理を実行させる、請求項6に記載の振動制御プログラム。

【請求項8】

バイブレーション装置による振動を信号によって制御する振動制御方法であって、
前記信号について、前記信号のエネルギーを維持しながら前記信号とは別の周波数をもつ波形に変換する、
振動制御方法。

【請求項9】

所定周波数以下の周波数を有する第1の信号成分を前記信号から除去し、
除去された前記第1の信号成分以外の前記信号における第2の信号成分を所定時間毎に分割し、
分割された前記所定時間毎に、前記第2の信号成分のエネルギーを維持しながら当該第2の信号成分の波形を変換する、
請求項8に記載の振動制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

1つの側面において、バイブレーション装置による振動を信号によって制御する振動制御装置であって、前記信号について、前記信号のエネルギーを維持しながら前記信号とは別の周波数をもつ波形に変換するエネルギー制御部を備える。